

倫理 (Ethics)					
本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担当
一般科目	必修	2年	2	講義	高橋祥吾
【授業の概要】 われわれが「よく生きる」ためにはどうしたらよいか。先人たちが「よく生きる」ためにどのように考えて生きたのか、先人たちの思想を教養として学んでいく。					
【授業の進め方】 教科書に沿って、必要な内容を解説していく。板書が多いのでノートを取る。また課題が与えられたときは必ず提出すること。教科書の内容・文章そのものは、教科書に書いてあることの解説とそれ以上の発展的内容を授業で学んでいく形になる。また、途中グループワークによる学習も実施する					
【授業の概要】	【授業項目】		【内容】		
1回	倫理とは何か		授業の進め方と、倫理についての概要		
2回	哲学の形成		ギリシア神話とソクラテス以前の哲学者たち		
3回	古代のギリシア		ギリシアの政治体制とソフィスト		
4回	ギリシアの哲学1		ソクラテスの思想を考える		
5回	ギリシアの哲学2		プラトンの哲学		
6回	ギリシアの哲学3		プラトンの哲学とアリストテレスの違い		
7回	ギリシアの哲学4		アリストテレスの哲学・倫理学		
8回	ヘレニズム時代の思想		ストア派とエピクロス学派		
9回	中間試験		上記の内容から出題する		
10回	中間試験の解答、解説 キリスト教1		試験の解答と解説を行う ユダヤ教とキリスト教について		
11回	イスラーム インドの宗教		イスラームと、インドのヒンドゥー教について		
12回	仏教		ゴータマの教えから仏教の広がりまでを学ぶ		
13回	中国の思想 日本の思想 儒教		日中の儒教の影響関係を学ぶ		
14回	日本の思想2		町人意識の目覚めと庶民思想について、国学から報徳思想までを中心に学ぶ		
	期末試験		10回から14回の内容から出題する		
15回	解答返却など		試験の解答と解説を行う		
16回	ルネサンスと宗教改革		ルネサンスの人文主義とルターとカルヴァン		
17回	科学革命		科学革命期の科学者たち		
18回	科学の方法論とイギリス経験論		科学の方法論とフランシス・ベーコン		
19回	経験論と合理論		経験論の哲学者たちとデカルトと合理論の哲学者について		
20回	合理論		デカルトと合理論の哲学者たちの続き		
21回	イギリスの社会契約論		ホッブズとロックの社会契約論の差異		
22回	啓蒙思想とルソー		ルソーの思想と啓蒙思想について学ぶ		
23回	中間試験		これまでの内容から出題する		

24回	中間試験の解答、解説	試験の解答と解説を行う				
25回	カント	カントの超越論的観念論（認識論）の部分学ぶ				
26回	カント2	カントの道徳哲学について学ぶ				
27回	ドイツ観念論	ドイツ観念論の流れとヘーゲルの哲学				
28回	功利主義	ベンサムとミルの功利主義				
29回	プラグマティズム	アメリカの哲学（パース、ジェームズ、デューイ）				
	期末試験	これまでの内容から出題する				
30回	解答返却など	試験の解答と解説を行う。				
【到達目標】	倫理に関する基礎的な知識を習得すること					
【徳山高専学習・教育目標】	A2	【JABEE基準】				
【評価法】	テストの平均と課題の提出などで評価する テスト 75% その他の課題 25%の割合で考えている。					
【テキスト】	教科書：『高等学校 改訂版 倫理』第一学習社 副教材『テオリア 最新倫理資料集 新版』第一学習社、プリント					
【関連科目】	哲学、技術者倫理					
【成績欄】	前期中間試験 【 】	前期末試験 【 】	前期成績 【 】	後期中間試験 【 】	後期末試験 【 】	学年末成績 【 】